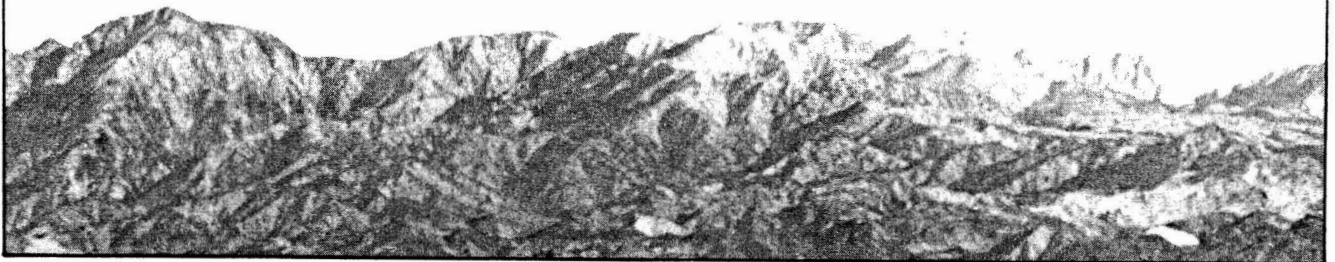


富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第301号

目 次

関 係 法 令..... 2	海外渡航者..... 6
学 内 規 則..... 2	昭和63年度富山大学中堅職員研修..... 7
富山大学国際交流事業基金規則の制定..... 2	昭和63年度全国公務員レクリエーション
諸 会 議..... 3	共同行事富山地区卓球大会..... 8
人 事 異 動..... 4	昭和63年度教職員文化展..... 8
学 内 諸 報..... 4	学内レクリエーション..... 8
叙位・叙勲..... 4	〈卓球大会〉..... 8
叙 勲..... 4	〈バドミントン大会〉..... 8
黒田講堂の改築工事安全祈願祭及び	シリーズ「富山大学、あの日あの頃」(18)
紺綬褒章(状)の伝達について..... 5	五福の大学キャンパス
文部省永年勤続者表彰..... 5	—大学開学前後—..... 9
核融合評価委員会視察について..... 5	職 員 消 息..... 10
アイルランド大使の来学..... 6	主 要 行 事..... 11

関 係 法 令

法 律

○学校教育法の一部を改正する法律(88) 11・15

規 則

- 人事院規則 9-49(調整手当)の一部を改正する人事院規則(人事院 9-49-4) 11・5
- 人事院規則 17-0(管理職員等の範囲)の一部を改正する人事院規則(17-0-13) 11・30

学 内 規 則

富山大学国際交流事業基金規則の制定

富山大学国際交流事業基金規則を次のとおり制定する。

昭和63年11月18日

富山大学長 大井 信一

富山大学国際交流事業基金規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学国際交流事業基金(以下「基金」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(基金の目的)

第2条 基金は、富山大学(以下「本学」という。)における国際交流の一層の進展を図り、もって、教育・学術研究の新興に資することを目的とする。

(基金の形態)

第3条 基金は、本学が奨学寄附金として採納し、委任経理金として管理し、運用する。

(基金の区分)

第4条 基金は、基本資金及び事業資金とに分ける。

2 基本資金は、次の資金をもって充てる。

(1) 富山大学国際交流事業後援会から基本資金として寄附された資金

(2) 基金設立後、基本資金として寄附された資金

3 事業資金は、資金から生ずる果実をもって充てる。

(事業資金)

第5条 基金による事業は、事業資金をもって運用す

る。

(事業内容)

第6条 第2条に規定する目的を達成するため、次の区分による事業を行う。

区 分	事 業
第1種	教職員の海外派遣事業
第2種	外国人研究者の招へい事業
第3種	外国へ留学する学生及び外国人留学生への奨学事業
第4種	その他国際交流に必要な事業

(基金の管理運営)

第7条 基金の管理運営に関しては、富山大学国際交流委員会において、次に掲げる事項を審議する。

(1) 基金の管理に関する基本的事項

(2) 基金による事業の実施に関する基本的事項

(3) 基金による事業の年度計画及び予算に関する事項

(4) 基金による実施事業の募集及び採択に関する事

項

(5) その他基金に関する重要事項

(基本資金の処分)

第8条 基本資金は、これを処分してはならない。ただし、国際交流事業の目的上やむを得ない事由がある場合は、富山大学評議会の議を経て処分することができる。

(事業年度)

第9条 この基金による事業年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事務)

第10条 この基金に関する事務は、庶務課及び経理課において処理する。

附 則

- 1 この規則は、昭和63年11月18日から施行する。
- 2 基金の設立初年度の事業年度は、第9条の規定にかかわらず、昭和63年11月18日から昭和65年3月31日までとする。

▶富山大学国際交流事業基金規則の制定理由
富山大学国際交流事業基金の適正な管理運用を図るため、所要事項を定める。

諸 会 議

昭和63年度第16回補導協議会(11月1日)

(議 題)

- (1) 黒田講堂の改築に伴う諸問題について
- (2) その他

昭和63年度第6回事務協議会(11月9日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について

昭和63年度第4回授業料等減免選考委員会(11月11日)

(協議事項)

- (1) 昭和63年度後期分授業料免除者の選考について

昭和63年度第17回補導協議会(11月11日)

(議 題)

- (1) 黒田講堂の改築に伴う諸問題について
- (2) その他

第3回情報処理センター運営委員会(11月17日)

(審議事項)

- (1) センター長の推薦について
- (2) 新システムの端末設置について
- (3) その他

昭和63年度第10回評議会(11月18日)

(審議事項)

- (1) 富山大学国際交流事業基金規則の制定について(継続)
- (2) 富山大学国際交流事業計画について(継続)
- (3) 昭和65年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験を利用する教科・科目について
- (4) 昭和64年度富山大学学生募集要項(追加)について
- (5) 昭和64年度富山大学教育専攻科及び経済学専攻科学生募集要項について
- (6) 昭和64年度富山大学工学部編入学試験合格者の判定について

昭和63年度第3回大学院委員会(11月18日)

(審議事項)

- (1) 昭和64年度富山大学大学院理学研究科(修士課程)及び工学研究科(修士課程)第2次学生募集要項について

第16回将来計画ワーキンググループ会議(11月22日)

(検討事項)

- (1) 将来計画について

人事異動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採用	63. 12. 1	村 山 昭 三		臨時用務員(厚生課作業員)	富山大学長
昇 任	"	浜 出 峯 一	施設課工営係長	富山医科薬科大学業務部施設課課長補佐	文 部 大 臣
	"	高 島 正 信	文部技官(施設課)	施設課工営係長	富山大学長
	"	春 山 義 夫	助 手(工学部)	講 師(工学部)	"
配 置 換	63. 11. 16	中 川 忠	庶務部人事課長	新潟大学庶務部庶務課長	文 部 大 臣
	"	井 口 善 之	島根大学学生課長	庶務部人事課長	"
	63. 12. 1	大 田 脩 生	沼津工業高等専門学校事務部長	庶務部長	"
	"	奥 井 信 夫	富山医科薬科大学業務部施設課課長補佐	施設課課長補佐	"
辞 職	63. 11. 30	川 口 三 郎	臨時用務員(厚生課作業員)	辞職を承認する	富山大学長
	"	四 日 久 吉	臨時用務員(工学部作業員)	"	"
	63. 12. 1	西 垣 登	庶務部長	"	文 部 大 臣
	"	富 田 龍 二	施設課課長補佐	"	"
職務命令	"	高 島 正 信	文部技官(施設課)	施設課工営係建築主任を免ずる	富山大学長

学 内 諸 報

叙 位・叙 勲

元本学教授松田順吉氏は、昭和63年10月12日逝去(享年82才)されましたが、同氏の生前の功績に対し、同

日付けで正四位に叙され、勲三等瑞宝章が授与されました。

叙 勲

11月3日付けで、昭和63年秋の叙勲が発表され、本学関係では次の方が受章されました。

名誉教授 坂井誠一 勲二等瑞宝章

名誉教授 頭川徹治 勲三等旭日中綬章

名誉教授 井上 浩 勲三等旭日中綬章

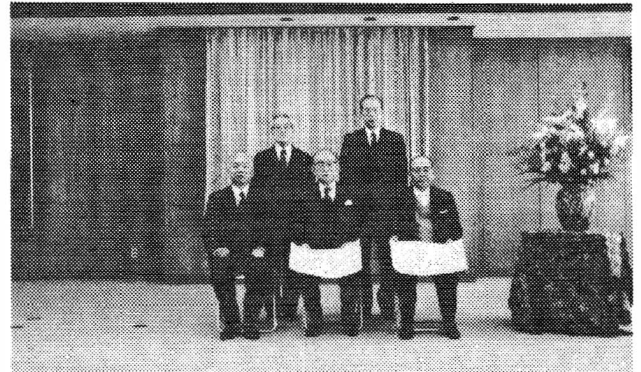
黒田講堂の改築工事安全祈願祭及び紺綬褒章(状)の伝達について

昭和63年11月8日(火)午前10時から黒田講堂の改築工事安全祈願祭が祭主者竹中工務店により同講堂前でコクヨ株式会社取締役会長黒田暲之助氏、富山県知事沖豊氏(代理出席、前澤教育次長)、外の来賓並びに大井信一学長、他部局長等関係者多数列席のもとに行われ、この改築に反対する一部反対派学生の抗議に遭ったものの無事に工事の安全を祈願して終了しました。

又、黒田講堂の改築にあたりコクヨ株式会社並びに同社会長黒田暲之助氏、同社社長黒田靖之助氏から多額の金員をご寄附賜りましたご篤志に対して内閣総理大臣から紺綬褒章(状)が授与され、同日午前11時から事務局大会議室において大井信一学長から伝達されました。

紺綬褒章(状)被伝達者

1 褒章	コクヨ株式会社
1 褒章の記、飾版、木杯	黒田暲之助
1 褒章の記、褒章、木杯	黒田靖之助



文部省永年勤続者表彰

退職時の文部省永年勤続者として、次の方が表彰され、昭和63年11月29日(火)午前11時15分から学長室において、大井信一学長から伝達されました。

文部省永年勤続者(退職時に勤続35年以上)

庶務部長 西垣 登



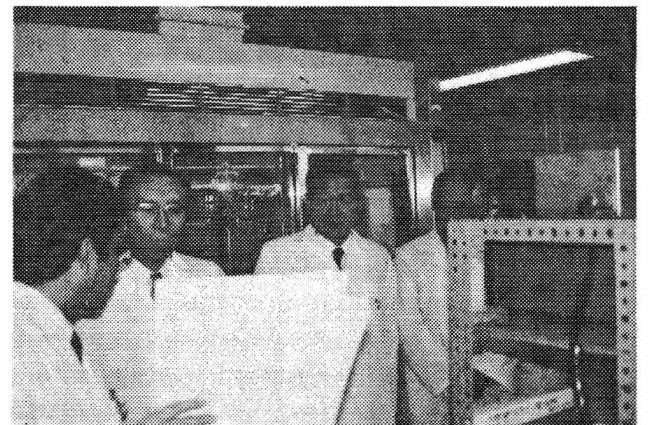
核融合評価委員会視察について

去る11月18日、核融合評価委員会の関口忠先生ら7名の評価委員が本学トリチウム科学センターを視察した。

これは、科学研究費補助金(核融合特別研究)をうけて行われているもので、核融合研究を行っている各大学施設の評価を行う視察の一環である。

渡辺教授から施設の概要説明があり、施設視察の後、トリチウム科学センター会議室において評価委員会会議が行われた。

その後、事務局会議室において、大井学長、小黒トリチウム科学センター長、その他本学関係者を交えて、



昼食を兼ね懇談会がもたれ、トリチウム科学センターの今後の見通しなどについて、有意義な意見交換がなされた。

評価委員

関口 忠先生(東大・工・教授)
竹内豊三郎先生(本学客員教授)

伊達 宗行先生(阪大・理・教授)
西川 恭治先生(広大・理・教授)
諸住正太郎先生(東北大・名誉教授)
河村 和孝先生(東工大・原研・教授)
山本 賢三先生(日本原子力産業会議・常任相談役)
以上7名

アイルランド大使の来学

駐日アイルランド大使ショーン・ローナン氏が、去る11月2日(水)来県され当日午後大井学長を表敬された後、アイルランド生まれのラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の蔵書等を収蔵している本学附属図書館のヘルン文庫を視察されました。

同氏は、ハーンに特に造詣が深く今回の来県となっ

たもので、熱心に文庫を見学されるとともに同席された小嶋館長、人文学部平田教授と親しく懇談された後、人文学部学生を前にアイルランドの文化と文学について講義され、両国の友好を一層深めていきたいと感想を述べられ本学を後にされました。



海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修旅行	人文学部	教授	山口 博	中華人民共和国 香港 シンガポール	(中国)日本文学研究会第四回定期研究会出席及び日本語・日本文学研究教育情況見学	63. 11. 14 } 63. 11. 18
					日中胡麻開発交流訪中代表団員としてゴマに関する学術研究の交流を行うため	63. 11. 14 } 63. 11. 24
	教養部	助教授	三原 健一	アメリカ合衆国	1988年アメリカ演劇研究学会出席及び研究資料収集	63. 11. 3 } 63. 11. 16

昭和63年度富山大学中堅職員研修

昭和63年度富山大学中堅職員研修が、去る11月7日(月)から11月9日(水)までの3日間、富山大学事務局及び国立立山少年自然の家において実施されました。

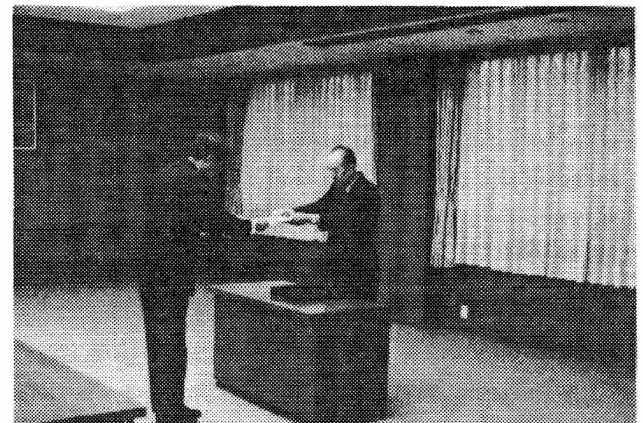
本研修は、中堅職員としての立場と責務を自覚させるとともに、必要な知識、技術、態度及び広範な行政

的視野、社会的識見を付与し、もって資質の向上を図ることを目的としたもので、本年度は主任を対象として20名が受講しました。

受講者及び日程表は次のとおりです。

1. 受講者

所 属	職 名	氏 名
庶務部庶務課	法規主任	福田 豊
〃 人事課	任用主任	酒井 利満
経理部主計課	監査主任	友坂 義一
〃 〃	予算主任	高 邑 英一
〃 経理課	物品管理主任	羽 広 孝司
施 設 課	企画主任	鹿 島 光雄
学 生 課	学生主任	佐 野 勤
厚 生 課	厚生寮務主任	西 尾 久
入 学 主 幹	入学試験主任	堀 和 實
人文・理学部	庶務主任	大 崎 秀雄
〃	学生主任	山 田 知訓
〃	用度主任	中 島 克敏
教育 学 部	庶務主任	涌 井 三枝子
〃	学生主任	柳 田 邦雄
経 済 学 部	庶務主任	北 村 均
〃	教務主任	湯 浅 健一
工 学 部	庶務主任	杉 本 周平
〃	人事主任	宮 原 進
教 養 部	庶務主任	向 雅 己
〃	会計主任	能 手 哲治



2. 日程表

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
11月7日(月)	開講式	「講 話」 事務局長 泉 寛 清	「講 演」 民間人の視点 富山相互銀行 代表取締役社長 金 岡 純 二					中堅職員としての使命 庶 務 部 長 西 垣 登		服 務 に つ い て 庶 務 部 人 事 課 長 中 川 忠		(班 別 討 議) 事 例 研 究 I					
11月8日(火)	(班 別 討 議) 事 例 研 究 II	(班 別 討 議) フ リ ー ト ー キ ン グ I 1. 大学における教員と職員 2. 公務員としての心がまえ					(移 動) 立山少年自然の家へ		「講 話」 山の公務員 立山少年自然の家所長 藤 田 茂 幸		オリエンテーション	体 育 ビ ー チ バ レ ー ボ ー ル	懇 親 会		宿 泊		
11月9日(水)	国立学校の会計	経理部長 林 利 治	厚生補導について 学生部次長 小山田浩彦	(班 別 討 議) 事 例 研 究 III				(班 別 討 議) フ リ ー ト ー キ ン グ II 職 場 の 人 間 関 係		(全 体 討 議)		(移 動) 富山大学へ		ア ン ケ ー ト	閉 講 式		

昭和63年度全国公務員レクリエーション 共同行事富山地区卓球大会

昭和63年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区卓球大会が、去る11月25日(金)富山県総合体育センターにおいて開催されました。今大会には10事業所から11チームの参加があり、本学からはA、Bの2チームが参加しました。

本学新井選手の力強い宣誓により競技が開始され、A、B両チームとも予選のリーグ選を快勝し、決勝ト

ーナメント戦に進出しました。Bチームは、決勝戦で惜しくも敗れ次勝、Aチームは、3位決定戦に勝って3位となりました。

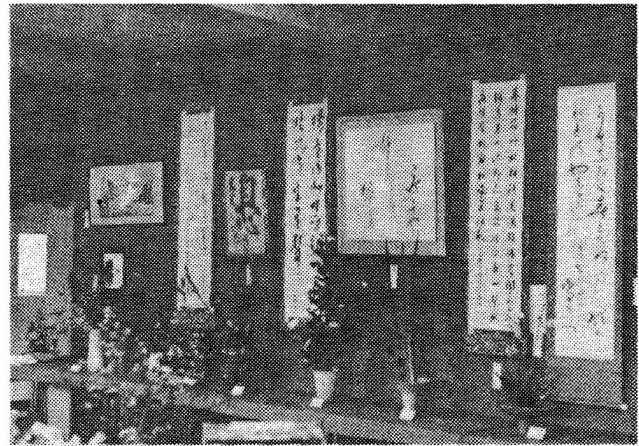
なお、成績は次のとおりです。

優 勝 富山医科薬科大学チーム
次 勝 富山大学Bチーム
3 位 富山大学Aチーム

昭和63年度教職員文化展

富山大学レクリエーション委員会、文部省共済組合富山大学支部共催で、昭和63年度教職員文化展が次のとおり開催されました。

開催日	11月9日(水)～11月11日(金)	
場 所	学生会館	
展示作品	華道班	23点
	手芸班	45点
	書道班	10点
	絵画班	12点
	写真班	5点
	盆景班	7点



学内レクリエーション 〈卓球大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会卓球班主催による昭和63年度卓球大会が、去る11月19日(土)約45名の参加者を得て富山大学第2体育館で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

1. 団体の部

優 勝 教育学部チーム
次 勝 人文学部・理学部チーム
3 位 工学部チーム

2. 個人の部

(1) 男子

優 勝 生田孝行(附属図書館)
次 勝 斉藤智明(教育学部)
3 位 西垣 登(本部)

(2) 女子

優 勝 河尻美雪(工学部)
次 勝 石黒世志子(附属図書館)
3 位 尾崎美幸(工学部)

〈バドミントン大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会バドミントン班主催による昭和63年度学内バドミントン大会が、去る11月26日(土) 富山大学第3体育館で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

優 勝 教養部チーム
次 勝 本部チーム

シリーズ「富山大学、あの日の頃」(18)

五福の大学キャンパス —— 富山大学開学前後 ——

名誉教授 深井三郎

現在、富山大学が五福のキャンパスを中心に発展しているのは、誠に喜ばしいことであります。殊に工学部の移転集中については、私が昭和44年から50年まで教育学部長併任期間を通じて6ヶ年間評議員であった頃に、しばしば議題となった時のことを思い出すと、大学発足して30年代に集中決議してから随分長くかかった。その理由いろいろあったようですがその理由の一つには、五福のキャンパスは既に満杯であったことであつたと思っております。

私はこのキャンパスの地に思い出がある。それは昭和7年4月短期現役兵として歩兵第35連隊へ入隊して、激しい訓練を受けた所であつたからです。当時上海事変の真っ最中で、本隊は上海へ出動中で留守部隊でした。7月初めに復員しましたが、私達短期現役兵は8月末まで就役除隊し、直ちに国民軍士官適任証をもらい、国民軍編入式までこの地で行ったからです。

戦時中富山師範女子部の学生は不二越・日清紡へ学徒動員され、予科生は食糧の増産や蒔炭の生産に従事していました。昭和20年8月1日夜のB29の大編隊による富山大空襲を私は室牧の山の上で学生達と一緒に見下ろしていた。夜の明けるのを待って富山市出身の学生を連れて山を下り、通りかかったトラックに便乗して富山市に入ったが、目も当てられね惨状であつた。堀川小泉の今の女子高の地にあつた校舎は焼失していた。午後、郊外の尼寺の庭に集合し、家が焼けた二・三の学生の一時の行き先も決まり、学生は各自連絡があるまで各家庭で待機させることになった。その後まもなく終戦となつた。

9月の下旬になって、本科生が動員させられていた不二越の寮で座学することになった。富山師範の本部もこの寮に置かれた。男子部も焼失したので県下各地に臨時の校舎を捜し、分散して授業を開始したようであつた。この不二越の寮で昭和21年3月女子部は卒業生を送り出した。この頃男子部は西田地方の焼跡の仮校舎、今の南部中学に入っていた。

五福のキャンパスは歩兵第35連隊の跡地で、焼け残つたのは連隊本部・第一大団第一中隊のいずれも二階建ての兵舎二棟と、今の教養部と教育学部との間の西

門付近にあつた赤煉瓦の炊事の建物、及び屋外演習場をはさんで東側今の県営野球場側に、雪中演習場が三棟並び、その北端に馬小屋が残っていました。そのほか営門を入れて左側に営兵所・営倉・将校集会所・交社の平屋の建物が道路側に残っていた。ここへ京都に本拠地があつた米第一軍団の第33師団第136連隊の第2大団105名が10月22日に進駐してきた。

一方国の方では進駐軍の方針に従って6・3・3制への教育改革が進行して、県ではその対応の具体策が練られていた。昭和21年末頃には進駐軍は五福の地から引き上げ、焼け残つた電気ビルにCIAが駐在していた。県では県立の中等学校焼失校舎の問題があつたが、まず敷地問題として師範学校の西田地方の男子部校舎敷地・堀川の女子部校舎の敷地と旧連隊跡地との交換を決定し、県教育部の山本儀一首席視学が京都の第一軍団東海北陸地方軍政部に度々交渉に出掛け、学校の敷地として利用されることになった。女子部はしばらく不二越から五福の富山商業の焼け跡に県が建てた仮校舎に移つたが、昭和22年末に男子部と共に五福の兵舎を少し改造して移ることになった。附属小学校は南側の雪中演習場の中を仕切って改造して入ることに鳴った。昭和22年4月11日から小学校の高等科は学制改革で新しく発足した富山師範学校附属中学校となり同日入学式を行った。そして昭和23年4月には小学校校舎から一クラスは西側の赤煉瓦棟を改造し、二クラスは営倉と将校集会所に移つた。これで五百石にあつた青年師範学校を除き、教員養成を目的とする師範学校が、この地で附属学校を併設して、男女両校が一つの校名になって以来一体となってこの地で再建できる事になったのであります。ところが教育改革は大学にもおよび、帝国大学を廃止、新制大学とすることになり、この構想で県内国立高専・専門学校長の間で審議されるようになり、その結果各学校は今迄の場所で富山大学各学部となつたが、富山高校は蓮町の校舎で、工学部に校名を変えたかつての高岡高商を生かして文学部に経済学部が併設され、五百石にあつた青年師範学校は教育学部に統一されて発足することになった。しかしまだそれぞれの学校に以前の学生が残っていた

のでその学生が卒業か、または移行するまで前の校名の上に富山大学をつけることになった。かくして附属諸学校もそれぞれ富山大学教育学部附属中・小学校・幼稚園と校名を変える事になった。

一県一大学となったので、高等・専門学校が多く各地に分散していたところでは、その地で学部となったためマスコミから駅弁大学とかタコ足大学とか言われるようにもなった。タコ足大学の典型的な例は信州大学であった。富山大学当局では将来計画として五福への集中が考えられていたようであるが、われわれには知らされていなかったので、五福のキャンパスは、交換して得た国有地とはいえ師範教育学部の専有地と考えていた。教育学部がこの地で少しづつ整備されたが、昭和26年4月附属諸学校は少し良い五艘の現在地の仮校舎に移転することになった。

昭和28年8月文理学部の経済学科が学部に昇格が決定認可され、やがて五福に校舎を新築し、五福集中のことが明らかになると、高岡では将来の工学部の移転には反対の声がおこった。昭和32年に経済学部が五福に移転してきた。この頃はまだ敷地の持たない学部だと思っていたがこれが五福集中の第一歩であった。昭和33年に大学本部が、昭和37年に蓮町の敷地を売却し、

文学科と一般教育校舎を建て、理学科の校舎だけは文部省が建ててくれるとの説明であった。そして昭和39年に東田地方にあった薬学部も敷地を売って校舎を建てて五福へ移転してきた。師範にとっては旧校舎の敷地と交換して得た五福の敷地で、他の学部が自分たちの旧校舎の敷地を買って入り込んできたので大学は一つとはいえ、何だか自分の庭へ他人が入ってきたような感じを持ったのは私一人ではなかった。この頃は未だ図書館は経済学部同居していた。体育館もでき五福のキャンパスは狭くなり、ここへ工学部の移転の余地がなくなり、南側隣接地にでも敷地を求めなければならなくなっていた。一方高岡市では工学部の移転反対がつづいていた。昭和44・5年頃工学部の評議員からこのままで移転するなら重大な決心をしなければならぬとの評議会での発言もあった。この頃高岡市では移転を認めるとしても国立の代替えがあれば、とに変わったが、昭和47年頃私自身文部省で聞いたところでは、長期計画の中にはこれ以上富山県で大学を新設する計画はないということだった。このような事情が工学部移転が長くかかった最大の原因であったと思っている。

職 員 消 息

《新任者住所》

事務局

庶務部長

文部事務官 大 田 脩 生

人事課長

文部事務官 井 口 善 之

施設課長補佐

文部技官 奥 井 信 夫

学 生 部

厚生課

臨時用務員 村 山 昭 三

(作業員)

《住所変更》

教育学部

文部事務官 北 治 夫

工学部

教 授 宮 下 和 雄

理学部

助 手 池 田 栄 雄

助 手 諸 橋 昭 一

文部技官 池 田 泰 子

主 要 行 事

本 部

11月

1～2日 14大学事務局長会議（於：広島大学）

2日 アイルランド大使本学視察
補導協議会

4日 体育部会

5～6日 第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭
（管弦楽・合唱部門，落語部門）

7～9日 昭和63年度富山大学中堅職員研修

8日 黒田講堂新営工事安全祈願祭

8～10日 昭和63年度厚生補導事務研修会
（於：国立婦人教育会館）

9～11日 昭和63年度教職員文化展

10日 教務補導関係事務改善分科会

11日 第8回北陸地区国立大学人事担当課長会議
（於：福井医科大学）

授業料等減免選考委員会
補導協議会

大学と外国人留学生との懇談会

昭和64年度富山大学入学試験に関する高等

学校と大学との懇談会

11～13日 第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭
（書道部門）

14～15日 昭和63年度北陸地区大学福利厚生担当者研
修会（於：庄川荘）

14～19日 推薦入学，帰国子女，社会人特別選抜願書
受付

15日 第8回入学試験管理委員会・第8回入学者
選抜方法研究委員会合同委員会

16～17日 国立大学協会第83回総会（於：学士会館）

17～18日 昭和63年度東海・北陸地区国立学校等施設
系職員研修会

（於：金沢大学辰口共同研修センター）

第70回東海・北陸地区国立大学学生部課長
会議（於：愛知教育大学）

18日 第3回大学院委員会

第10回評議会

国立大学協会第50回事務連絡会議

（於：学士会館）

第12回全国大学保健管理協会北陸地区保健
婦・看護班研究集会

19日 学内将棋大会

- 学内卓球大会
19～20日 第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭
(美術・放送部門)
22日 第29回北陸地区大学学生部懇話会
(於：福井工業大学)
25日 R連盟卓球大会(於：富山県総合体育センター)
26日 学内バドミントン大会
26～27日 第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭
(茶道部門)
29日 文部省永年勤続者表彰式
30日 日本育英会返還説明会

人 文 学 部

- 11月2日 教授会
人事教授会
大学院人文科学研究科委員会
教務委員会
アイルランド大使講演会
4日 事務連絡会
9日 係長会議
拡大教務委員会
14～19日 帰国子女及び社会人特別選抜願書受付
15日 事務連絡会
16日 施設委員会
教授会
人事教授会
21日 人文学部(語学文学科)移転に伴う打合せ会
" 諸設備説明会
真率会役員会
28日 事務連絡会
施設委員会
30日 教授会
人事教授会
大学院人文科学研究科委員会
拡大教務委員会
東京大学名誉教授 浜川祥枝 講演会

教 育 学 部

- 11月1日 X線回析装置機種選定委員会

- 2日 情報教育課程運営委員会
8日 学部教務委員会
9日 教授会
人事教授会
附属養護学校体験入学
10日 学部入学者選抜方法検討委員会
11日 日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会(於：東京都)
11～17日 附属養護学校入学, 附属幼稚園入園願書受付
12～13日 日本教育大学協会北陸地区会教育実践研究指導部門研究協議会(於：新潟大学)
14日 学部予算委員会
16日 教授会
17日 情報教育課程運営委員会
18日 全国国立大学附属学校管理運営等協議会(於：横浜市)
19日 情報教育課程専門委員会
24日 日本教育大学協会北陸地区会美術部門研究協議会(於：富山大学)
25日 昭和63年度富山大学教育学部教育実習運営協議会
30日 人事教授会
学部職業補導委員会

経 済 学 部

- 11月2日 コンピュータ管理運営委員会
学部図書委員会
日本海経済研究所運営委員会
学部将来構想検討委員会
10日 夜間主コース設置5大学懇談会
(於：富丘会館)
11日 昭和63年度秋季国立11大学経済・経営学部長及び事務長会議(於：富丘会館)
14～19日 経済学部推薦入学, 帰国子女, 社会人特別選抜入学願書受付
15日 学部職業補導委員会
16日 学部教務委員会
学部入学方法検討委員会・学部教務委員会の合同委員会
人事教授会
助手室業務運営委員会

教授会

- 17日 学部施設整備委員会
 18日 学部将来構想検討委員会
 24日 コンピュータ管理運営委員会
 28日 夜間主コース運営委員会
 30日 学部入学方法検討委員会
 人事教授会
 教授会

理 学 部

- 11月2日 補導委員会（持回り）
 4日 事務連絡会
 9日 係長会議
 14～19日 帰国子女及び社会人特別選抜願書受付
 15日 事務連絡会
 教務委員会
 16日 教授会
 大学院理学研究科委員会
 人事教授会
 21日 真率会役員会
 28日 事務連絡会
 30日 学科主任会議

工 学 部

- 11月2日 教授会
 教育用端末装置運営委員会
 9日 工学部編入学試験
 14日 教務委員会
 16日 専任教授会
 工学研究科委員会
 教授会
 17日 学科主任会議・学部改革検討委員会合同会
 議
 19日 工学部編入学合格者発表
 24日 工学部推薦入学第1次選考
 25日 入学試験検討委員会
 学部改革検討委員会
 28日 施設整備委員会
 30日 教授会

教 養 部

- 11月2日 将来計画委員会
 紀要委員会
 補導委員会
 9日 教授会
 16日 施設整備委員会
 推薦委員会
 将来計画委員会
 29日 予算委員会
 30日 人事教授会
 教授会

附 属 図 書 館

- 11月2日 アイルランド大使 ヘルン文庫視察
 係長事務打合せ会
 15日 図書館事務電算化ワーキング・グループ打
 合せ会
 17日 //
 17～18日 第2回国立大学図書館協議会シンポジウム
 （於：関西地区大学セミナーハウス）
 22日 係長事務打合せ会
 29～30日 昭和63年度北信越地区国立大学附属図書館
 事務（部・課）長会議（於：福井医科大学）

トリチウム科学センター

- 11月18日 核融合評価委員会視察
 22日 第16回トリチウム科学センターワーキング
 グループ会議

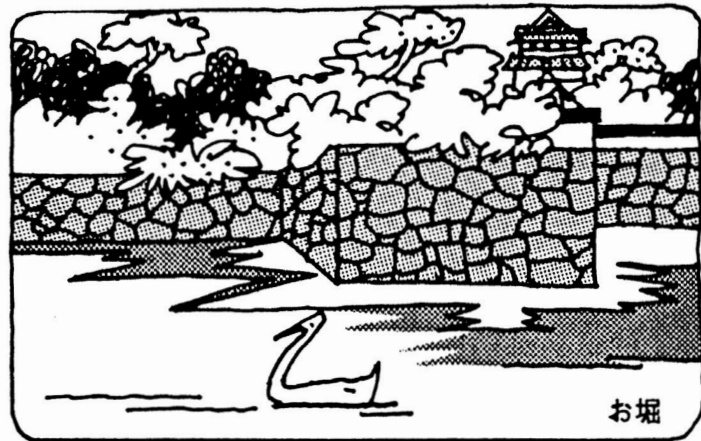
保健管理センター

- 11月11日 健康診断（工学部，地域共同研究センター
 の職員，男・女）

地域共同研究センター

- 11月4日 東京電機大学関係者視察
- 7～16日 昭和63年度先端技術者養成研修
(於：工学部，地域共同研究センター)
- 8日 文部省学術国際局学術課関係者視察
- 10日 R&Dトップセミナー「研究開発の現状」
(於：富山技術開発財団)
- 11日 群馬大学関係者視察

- 18日 共同研究に関する懇談会
- 21日 富山テクノポリス視察会
日本経済新聞社 日本地域経済研究所事務局長視察
- 24日 第2回経営者・研究者交流会実行委員会
(於：富山技術開発財団)
- 28日 文部省大臣官房文教施設部関係者視察
- 30日 第2回経営者・研究者交流会
(於：工学部)



編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 1755(代)